ECLIPSE

HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/MS VGA-AVシステム

AVN8803HD

取扱説明書

クイックガイド編

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
本機が故障したときにしていただきたいこと

知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

2 安全上のご注意

警告

- 本機はDC12V ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。

注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスクおよび“メモリースティック”挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

次ページへ

安全上のご注意

注意

- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって破棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
- チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

＜M／T車の場合＞

- ディスク等を取り出す際、1 ・ 3 ・ 5 ・ Ⓡ ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- チルト位置を設定する際、1 ・ 3 ・ 5 ・ Ⓡ ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）の故障、誤作動、または不具合により、録音されなかったときの録音内容および消失したデータの保証については補償できませんので、ご容赦ください。

3 取扱説明書の構成

このような順に各取扱説明書をご利用ください

AVN8803HDでは3冊の取扱説明書を同梱しています。
ご利用状況に応じて取扱説明書を使い分けてください。

AVN8803HDの基本的な操作に慣れるまで

「取扱説明書クイックガイド編」をお読みください。
本機の基本的な使い方やふだんよく使う機能のみを説明しています。

ナビゲーションの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書ナビゲーション編」をお読みください。
ナビゲーションの全ての機能を説明しています。

オーディオの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書オーディオ編」をお読みください。
オーディオの全ての機能を説明しています。

ワンポイント
取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。また、ナビゲーションの画面では、VICS情報を表示していません。

4 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo. とタイトルがつけられています。

操作タイトル

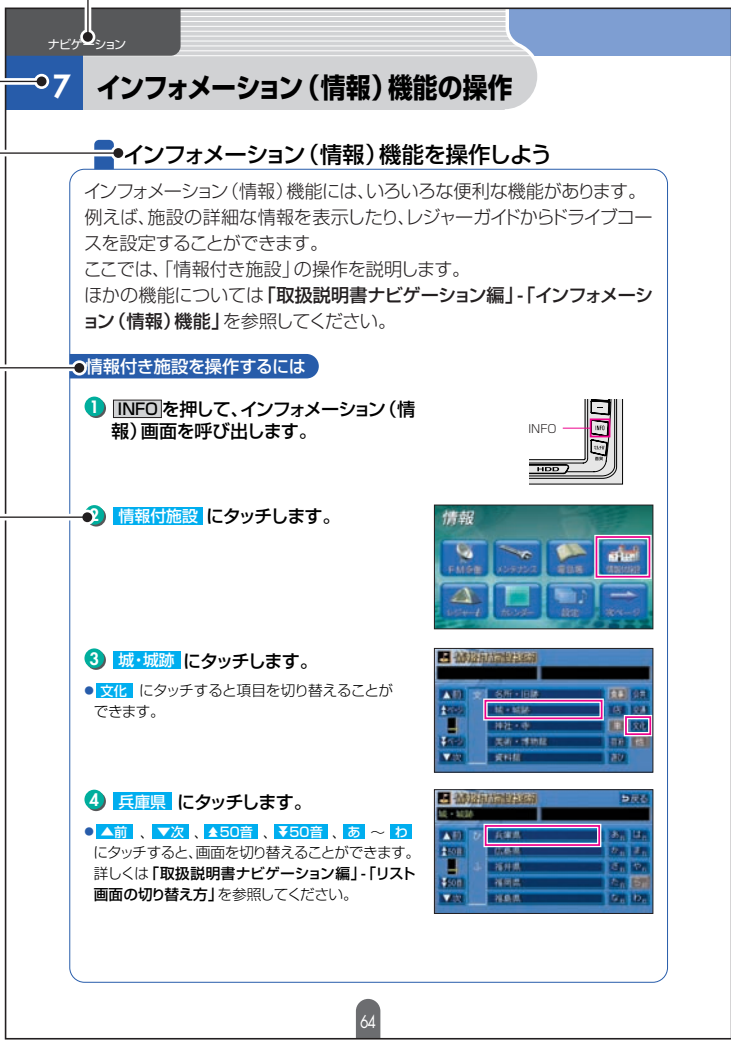
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作例

具体的な目的ごとにタイトルがつけられています。

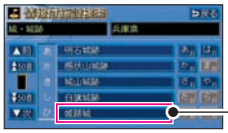
操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。



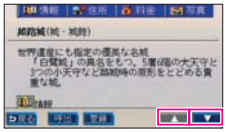
5 姫路城 にタッチします。

- ▲前 、▼次 、▲50音 、▼50音 、あ ～ わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

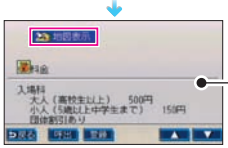


6 ▼（または ▲）にタッチして画面を移動します。

- 登録 にタッチすると、表示中のページを登録できます。



- 地図表示 にタッチすると地図が表示されます。



ワンポイント

地図画面からは 目的地セット にタッチすると、行き先に設定できます。また、地点登録 にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

ナビゲーション

操作スイッチ

操作に必要なスイッチを示しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

次ページへ・・・

操作手順が次ページに続く場合を表します。

5 目次

お使いになる前に

安全にお使いいただくために …… 2
安全上のご注意 …… 3
取扱説明書の構成 …… 5
このような順に各取扱説明書をご利用ください …… 5
本書の見方 …… 6
目次 …… 8

はじめに

各部の名称 …… 12
パネルスイッチについて …… 12
タッチスイッチについて …… 13
電源の入れ方・切り方 …… 14
電源の入れ方・切り方について …… 14
ディスク・"メモリースティック"の出し入れ …… 15
CD、DVD、"メモリースティック"の入れ方・出し方について …… 15
ディスプレイの角度調整 …… 20
ディスプレイを好みの角度に調整しよう …… 20
本機のモードについて …… 21
各モードについて理解しよう …… 21
本機の作動条件について …… 22
各機能の作動状態について …… 22
各モードの呼び出し …… 23
各モードを呼び出してみよう …… 23

ナビゲーション

地図の操作 …… 24
自分の車の位置を確認しよう …… 24
地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール） …… 25
地図の縮尺を変えてみよう …… 26
地図の向きを変えてみよう …… 27
地図の表示方法を変えてみよう …… 28
地図にいろいろな施設のマークを表示しよう …… 30

ナビゲーション

場所の登録 …… 31
自宅を登録しておこう …… 31
お気に入りの場所を登録しよう …… 36

ルート案内について …… 41
ルート案内を開始するには …… 41

ルートの探索（行き先を指定） …… 42
行き先を決めてルート探索をしよう …… 42
地図を移動して探すには …… 43
自宅に帰るには …… 44
施設ジャンルから探すには …… 45
電話番号から探すには …… 47

ルートの設定 …… 50
希望のルートを設定しよう …… 50
ルートの道のりを確認しよう …… 52
ほかのルートを選んでみよう …… 53
ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう …… 54

ルートの案内 …… 56
ルートの案内について …… 56
ルート案内に沿って車をスタートしよう …… 60
案内を途中で中止・再開しよう …… 61
行き先を消去しよう …… 63

インフォメーション（情報）機能の操作 …… 64
インフォメーション（情報）機能を操作しよう …… 64

VICS機能の操作 …… 66
渋滞情報を確認するには（VICS機能） …… 66
VICSの周波数に合わせよう …… 67
文字・図形情報を表示しよう …… 69
地図にVICS情報を表示しよう …… 71

次ページへ

目次

ナビゲーション

その他の設定 …… 74
お車の情報（ナンバープレートの分類、車両寸法）を登録しよう …… 74
ナビゲーションの画面に時計を表示するには …… 75
ナビゲーションの画面を消すには …… 76
現在地を補正するには …… 77

オーディオ

オーディオソース（モード）の切り替え …… 82
オーディオのソース（モード）を切り替えよう …… 82
ラジオの操作 …… 84
ラジオを聞くには …… 84
CD/MP3プレーヤーの操作 …… 86
CD/MP3ファイルを聞くには …… 86
“メモリースティック”プレーヤーの操作 …… 88
“メモリースティック”を聞くには …… 88
MUSIC JUKEの操作 …… 90
MUSIC JUKEについて …… 90
MUSIC JUKEに録音するには …… 92
MUSIC JUKEを聞くには …… 94
TVの操作 …… 96
TVを見るには …… 96
DVDプレーヤーの操作 …… 98
DVDビデオを見るには …… 98
音質の調整 …… 100
音質を調整しよう …… 100
その他の設定 …… 106
スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう …… 106
画面の表示サイズを切り替えよう …… 107

マルチウィンドウ

マルチウィンドウの操作 …… 108
ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう …… 108
マルチウィンドウを操作しよう …… 110

ご参考に

バッテリーの交換時 …… 112
バッテリーを交換したときは …… 112
お手入れについて …… 113
本機やアンテナのお手入れについて …… 113
アフターサービスについて …… 114
アフターサービス …… 114
仕様について …… 116
各仕様 …… 116
凡例 …… 119

1 各部の名称

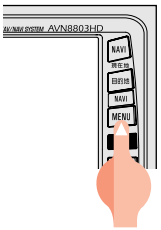
本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

パネルスイッチについて

左右のパネルスイッチを押して操作します。

① POWERスイッチ	TV・オーディオの電源を入れるときや、切るときに押します。
② CONTスイッチ	オーディオ・TVの操作画面を表示するときに押します。
③ SOURCEスイッチ	オーディオのメニュー画面を表示して各オーディオモードを切り替えるときに押します。
④ TUNE／TRACKスイッチ	TV・ラジオの選局、音楽用CDの選曲、DVDのチャプター選択をするときに押します。
⑤ RECスイッチ	再生中の音楽を録音するときに押します。
⑥ OPEN／TILTスイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。
⑦ NAVIスイッチ	ナビゲーション画面／現在地を表示するときに押します。
⑧ 目的地スイッチ	ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。
⑨ NAVI MENUスイッチ	ナビゲーションのメニュー画面を表示するときに押します。
⑩ VOLスイッチ	TV・オーディオの音量を調整するときに押します。
⑪ INFOスイッチ	ナビゲーションの各インフォメーション（情報）機能を操作するときに押します。
⑫ マルチW／画質スイッチ	マルチメニューを表示するときに押します。 画質の調整や画面を消すときに1秒以上押します。

■ NAVI MENU スイッチを押すと



ピッ

メニュー画面が表示されます。

タッチスイッチについて

画面のタッチスイッチにタッチして操作します。

タッチスイッチ

ピッ　　ピッ

［タッチスイッチの操作について］

- タッチスイッチは“ピッ”っという応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが緑色になるものもあります。

■ OFF にタッチすると

タッチスイッチの表示が消えます。
ON にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

注意　タッチスイッチは指でタッチしてください。
ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

ワンポイント　本機はリモコン対応になっています。
別売の10キーリモコンを販売店でお求めください。

2 電源の入れ方・切り方

電源の入れ方・切り方について

本機は、車のエンジンをかけると自動的にTV・オーディオの電源が入り、ナビゲーションの画面、またはTVの画面※を表示します。
エンジンを切ると電源も切れます。
※…前回、TVをご覧になっている途中でエンジンを切った場合はTV画面を表示します。

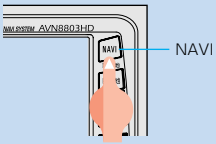
エンジンキー

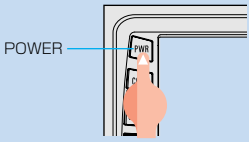
〈オープニング画面〉

〈ナビゲーション画面〉

ワンポイント

- 内蔵のハードディスクに地図データを収録していますので、ディスクは必要ありません。
- ナビゲーションの画面が表示されないときは、NAVI を押してください。
- オーディオ、またはTVの電源が入らないときは、PWR を押してください。再度、PWR を押すとオーディオ、またはTVの電源が切れます。





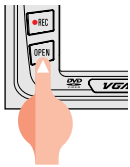
3 ディスク・“メモリースティック”の出し入れ

CD、DVD、“メモリースティック”の入れ方・出し方について

音楽をお聴きになるときは、音楽CD、または“メモリースティック”を、DVDビデオを再生するときはDVDビデオを各差し込み口に入れてください。

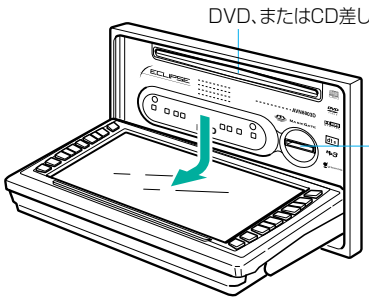
各ディスク（DVD・CD）および“メモリースティック”の入れ方

1 OPEN/TILT を押します。



2 ▲DVD/CD 、または ▲MEMORY STICK OPEN にタッチします。

ディスプレイ部が開き各差し込み口があらわれます。



ワンポイント

OPEN/TILT を約1秒間“ピッ”と音がするまで押しても、ディスプレイ部を開くことができます。

注意

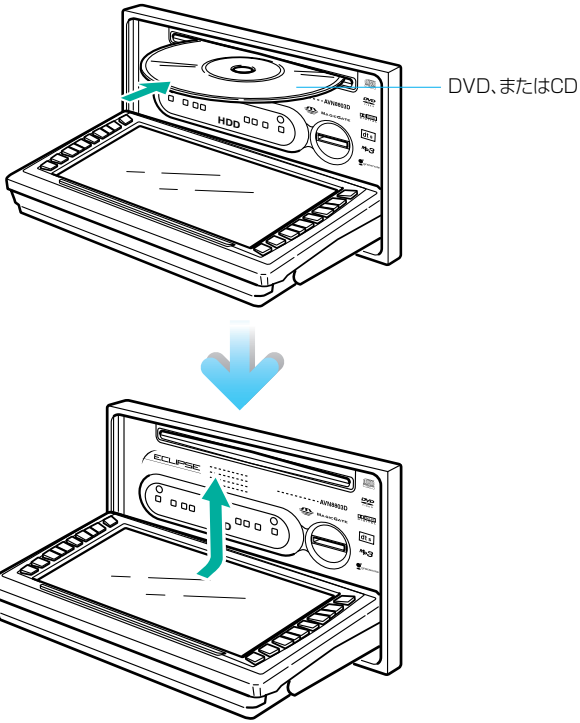
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1·3·5·Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

次ページへ

ディスク・"メモリースティック"の出し入れ

■ DVD、またはCDを差し込む場合

3 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。
●ディスク差し込み後、ディスプレイ部が自動で閉じます。



●DVDおよびCDはラベル面を上にして差し込んでください。
●DVDを差し込んだときはDVDビデオの再生が始まります。
●CDを差し込んだときは音楽CD、またはMP3の再生が始まります。

ワンポイント

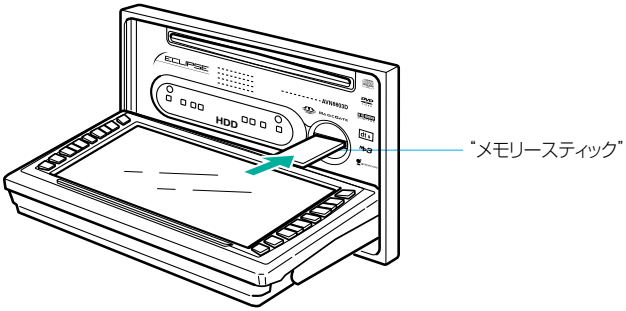
本機の初期の設定では、音楽CDを再生すると自動でMUSIC JUKEに録音が開始されます。録音を中止するには、ディスプレイ部を閉じて（次ページ4）から ●REC を1秒以上押してください。（詳しくは、**「MUSIC JUKEの操作」**90ページを参照してください。）

注意

●DVDビデオおよびCDの差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
●地図ディスク（DVD-ROM）は使用できませんので差し込まないでください。
●各ディスクの差し込み途中に CLOSE 、または OPEN/TILT を押さないでください。

■ “メモリースティック” を差し込む場合

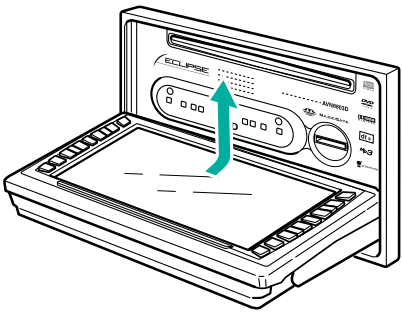
3 差し込み口に “メモリースティック” を差し込みます。



- “メモリースティック” は▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
  （“メモリースティック” が数mmほど飛び出した状態になります。）
- “メモリースティック Duo” を差し込むときは、必ず “メモリースティック Duo” アダプターを取り付けてから差し込んでください。（“メモリースティック Duo” のみを差し込むと取り出せないことがあります。）

4 "メモリースティック"が奥まで差し込まれたことを確認し、4秒ほど待ってから CLOSE にタッチします。

- **ディスプレイ部が閉じます。**
- OPEN/TILT を押してもディスプレイ部は閉じます。



注意

"メモリースティック"の差し込み途中に CLOSE、または OPEN/TILT を押さないでください。

ディスク・"メモリースティック"の出し入れ

ワンポイント

■DVDについて

- 次のマークの付いたDVDビデオディスクが使用できます。

- DVDビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVDビデオディスクを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。（詳しくは**「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」**を参照してください。）

- CD-R、CD-RWは、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- 下記のマークの付いたコピーコントロールCD、またはレーベルゲートCDは再生できない場合があります。詳しくは、コピーコントロールCDの説明書を参照してください。

- 8cmCDを差し込むときはアダプターを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてください。

■“メモリースティック”について

- 下記のマークの付いた“メモリースティック”、“メモリースティック Duo”、または“MG メモリースティック”（“マジックゲートメモリースティック”）が使用できます。（詳しくは**「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」**を参照してください。）

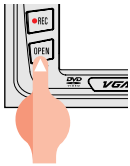
画像用

音楽および画像用

- “メモリースティック PRO”には対応していません。
- 128MBまでの容量の各“メモリースティック”に対応しています。
- “MG メモリースティック”再生中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- “MG メモリースティック”のフォーマット（初期化）は、専用機器で行ってください。 専用機器以外でフォーマットを行った場合、再生できません。
- “メモリースティック”から画像データの読み込み中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- “メモリースティック”、または“MG メモリースティック”はご使用時以外、必ず本機から取り出してください。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）はソニー株式会社の登録商標です。

各ディスク（DVD・CD）および“メモリースティック”の出し方

1 OPEN/TILT **を押します。**



2 **●ディスクを取り出すときは**
▲DVD/CD にタッチします。
（自動でディスクが押し出されます。）
●“メモリースティック”を取り出すときは、▲MEMORY STICK OPEN にタッチして、“メモリースティック”を軽く押して（1回）取り出します。
ディスクが取り出せない場合（かみこみなど）は、CLOSE にタッチしてディスプレイ部を閉じてから OPEN/TILT を長押し（5秒以上）してください。

3 **取り出し後、CLOSE にタッチします。**
OPEN/TILT を押してもディスプレイ部は閉じます。

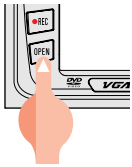
注意

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
  <A／T車>ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
  <M／T車>ディスクを取り出す際、1·3·5·Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 各ディスク、または“メモリースティック”を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

4 ディスプレイの角度調整

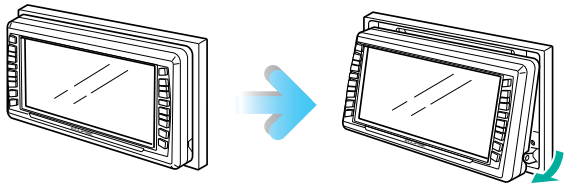
ディスプレイを好みの角度に調整しよう

1 OPEN/TILT を押します。



2 TILT にタッチします。

- ディスプレイ部が斜め上方に1段階（5°）傾きます。
- スイッチにタッチするごとに1段階ずつ傾きます。
- 傾きが6段階（30°）のときにスイッチにタッチすると、ディスプレイ部がもとの状態（0°）にもどります。



3 調整後、OPEN/TILT を押します。

ワンポイント

- ディスプレイ部を傾けた状態でも、ディスプレイ部を開くことができます。ディスプレイ部を閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

注意

- ディスプレイ部の角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。
- ディスプレイ部の角度調整をする際、下記に注意してください。

<A／T車>

チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

<M／T車>

チルト位置を設定する際、1·3·5·Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。）

5 本機のモードについて

各モードについて理解しよう

本機には大きく分けて「GPSボイスナビゲーション」・「情報」・「オーディオ・MUSIC JUKE・TV・DVD」・「マルチウィンドウ」の4つのモードがあります。
どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。

1

2

3

4

	モード	主な機能
1	GPSボイスナビゲーション	●現在地の表示 ●目的地の案内 ●地点（自宅・メモリ地点）の登録
2	情報	●FM多重放送の受信 ●メンテナンス機能 ●電話帳機能 ●施設情報の検索 ●HDD（ハードディスクドライブ）のデータ管理など
3	オーディオ（ラジオ・CD・MP3・“メモリースティック”・MUSIC JUKE・TV・DVD）	●AM・FM放送の受信 ●CDプレーヤーの操作 ●MP3プレーヤーの操作 ●音楽用“メモリースティック”の操作 ●MUSIC JUKEの操作 ●TV放送の受信 ●DVDプレーヤーの操作
4	マルチウィンドウ	●2モードの同時表示 （ナビゲーションとオーディオ画面など）

※“メモリースティック”はソニー株式会社の商標です。

6 本機の作動条件について

各機能の作動状態について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます　×：操作できません

エンジンスイッチ / 各機能	OFF（LOCK）	ACC	ON停車中	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
GPSボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
FM多重放送（FM多重文字情報）	×	○	○	走行中はご使用になれません（一部の番組は操作できます）	×
TV	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります	×
DVD	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります	×
マルチウィンドウ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
ディスクおよび“メモリースティック”の出し入れ／ディスプレイの角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません

※TV／DVD画面は走行中、安全上の配慮などから音声のみになります。

ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。

7 各モードの呼び出し

各モードを呼び出してみよう

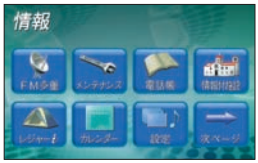
次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

ナビゲーション画面

NAVI を押します。

インフォメーション（情報）画面

INFO を押します。

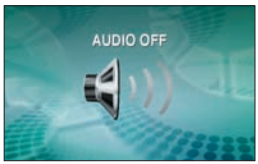


オーディオ操作画面

CONT を押します。（作動時）*1

（FMラジオ作動時）

（OFF画面）*2



マルチウィンドウ画面

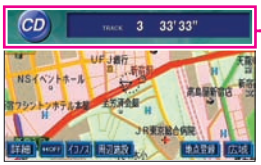
マルチW を押します。

*1：オーディオ、またはTV・DVD機能が作動しているときに表示します。オーディオ・TVの操作については**「取扱説明書オーディオ編」**を参照してください。

*2：オーディオ・MUSIC JUKE、またはTV・DVDの機能がOFF状態時に表示されます。

スクリーン表示（オンスクリーンプレイ）について

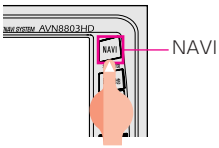
ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオまたはTV・DVDを操作（トラック選曲や周波数選局）すると、スクリーンが表示されます。スクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。また、オーディオ、またはTV操作画面で CONT を押すと、スクリーン表示に切り替わります。



1 地図の操作

自分の車の位置を確認しよう

NAVI を押して自分の車の現在地周辺を表示しましょう。



自車位置マーク
現在地と車が向いている方向が表示されます。車の走行に合わせて自動的に自車位置マークと地図が動きます。

現在地画面の見方

方位マーク
地図の方向が表示されます。

現在地の地名
現在地で NAVI を押すと表示されます。

スケール表示
表示されている地図の縮尺が表示されます。
└┘の長さがこの場合は100mです。

自車位置マーク

GPSマーク
人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、緑色で表示されます。

GPS 受信状態のとき

GPS 測定不能なとき

タッチスイッチ
画面によって各機能のスイッチが表示されます。

地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール）

地図に直接タッチして地図を動かしましょう。

スクロール方面名称
上下、左右方向の市区町村名などが表示されます。

カーソルマーク
地図にタッチすると画面中心にカーソルマークが表示されます。

スクロール画面の見方

位置名称
地図の移動後、カーソル位置の地名が約2秒間、表示されます。

直線距離表示
自車位置マークからカーソルマーク中心までの直線距離が表示されます。

カーソルマーク
タッチし続けるとカーソルマークが黒から黄色 に変わりスクロールが早くなります。

地図の縮尺を変えてみよう

タッチスイッチの 広域 にタッチすると、地図の縮尺が大きくなり広い範囲が表示されます。 詳細 にタッチすると地図の縮尺が小さくなり詳しい地図が表示されます。

市街図 にタッチする
タッチすると50mスケールの市街図が表示されます。

スケールバー
数字にタッチすると数字の縮尺に切り替わります。

市街図では 詳細 にタッチするごとに25m、10mスケールに切り替わります。

詳細 、 広域 にタッチするごとに1段階ずつ切り替わります。
詳細 、 広域 を約1秒以上タッチし続けると、無段階※に切り替わります。
（※市街図では切り替わりません）

地図の向きを変えてみよう

表示している地図の向きをノースアップ（つねに北が上になるような地図で表示されます）とヘディングアップ（車の進行方向がつねに上になるような地図で表示されます）に切り替えることができます。

方位マーク（ 、または ）にタッチすると、地図の向きが切り替わります。

ノースアップ表示

方位マーク表示

ヘディングアップ表示

方位マーク表示

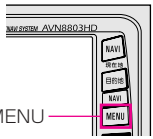
北を示します

地図の表示方法を変えてみよう

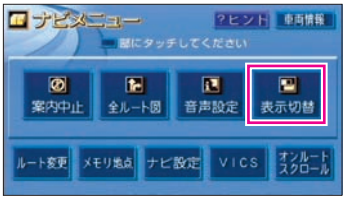
いろいろな状況に応じて地図の表示を変えることができます。
地図の表示方法には下記の4種類があります。

ノーマル	通常の地図（平面の地図）で表示されます
ツイン	画面を左右2つに分割した地図で表示されます
3D	上空から見ているような立体的な地図で表示されます
3Dツイン	画面を左右2つに分割して立体的な地図で表示されます

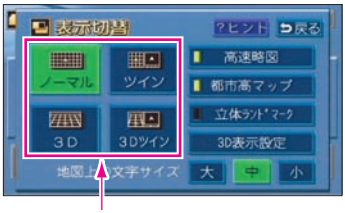
1 NAVI MENU **を押して、メニュー画面を呼び出します。**



2 表示切替 **にタッチします。**



3 **希望の表示方法にタッチします。**



表示している地図のタッチスイッチが緑色になっています。

■ ノーマル にタッチすると

通常の地図（平面の地図）で表示されます

■ ツイン にタッチすると

画面を左右2つに分割した地図で表示されます

■ 3D にタッチすると

上空から見ているような立体的な地図で表示されます

■ 3Dツイン にタッチすると

画面を左右2つに分割して立体的な地図で表示されます

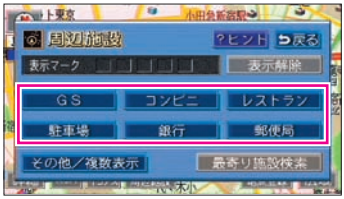
地図にいろいろな施設のマークを表示しよう

表示している地図にいろいろな施設のマーク（ランドマーク）を表示することができます。

1 周辺施設 **にタッチします。**

2 表示する 施設名 **にタッチします。**

●複数のランドマークや画面の6種類以外を表示することもできます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「施設の表示」**を参照してください。



●選んだ施設ランドマークが表示されます。

施設ランドマーク

2 場所の登録

自宅を登録しておこう

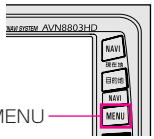
本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。
自宅を登録しておくと、ドライブ先から帰るとき簡単にルートを設定することができます。

自宅にいるときは

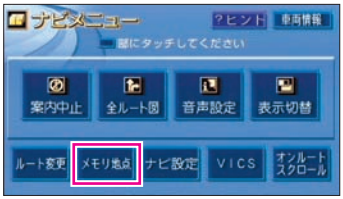
ワンポイント

NAVI を押して、自宅付近の地図を表示してから操作してください。

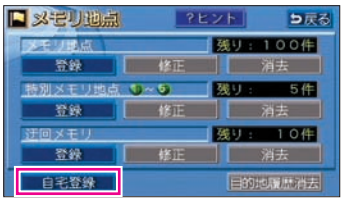
❶ NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



❷ メモリ地点 にタッチします。



❸ 自宅登録 にタッチします。



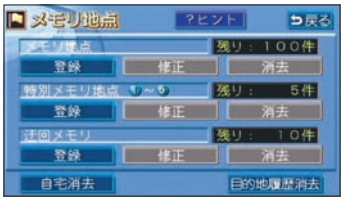
次ページへ

場所の登録

4 先程の地図 、または 現在地周辺 に**タッチします。**

5 セット **にタッチします。**

●✛の位置に自宅が 記号で表示されます。

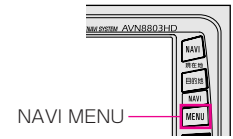


6 NAVI **を押します。**

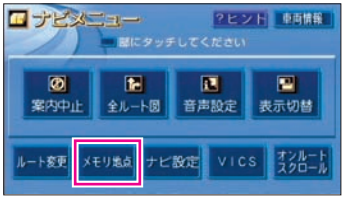
●現在地を表示します。

自宅以外にいるときは

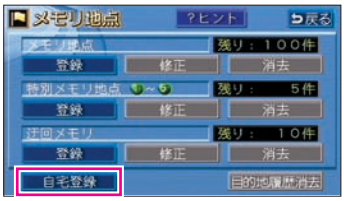
1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



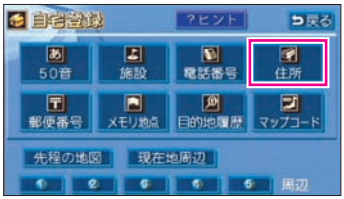
2 メモリ地点 にタッチします。



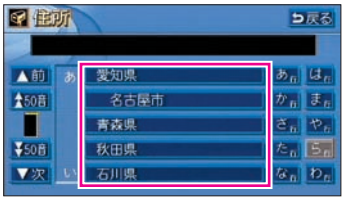
3 自宅登録 にタッチします。



4 住所 にタッチします。



5 都道府県・市区町村・町名・丁目（字）の順にタッチします。

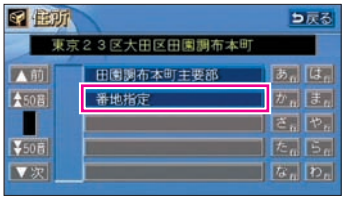


- 前 、次 、50音 、50音 、あ ～ わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

次ページへ

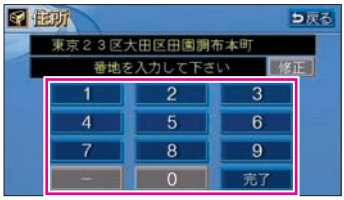
場所の登録

6 丁目（字）にタッチしたあと 番地指定 にタッチします。

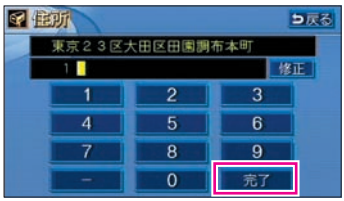


7 数字、または－（ハイフン）を1つずつタッチして入力します。

●間違えたときは 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。



8 完了 にタッチします。



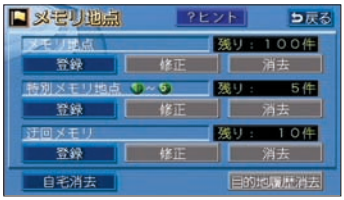
9 位置変更 にタッチします。

●位置を移動しないときは、11 の手順を操作します。

10 🏠 にタッチして自宅の位置に合わせます。

⑪ セット にタッチします。

●⊕の位置に自宅が記号で表示されます。



⑫ NAVI を押します。

●現在地を表示します。

お気に入りの場所を登録しよう

地図にお気に入りの場所を100カ所まで登録することができます。
場所を登録すると地図に旗（ ）などのマークを表示することができます。

地図から登録するには

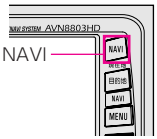
1 地図にタッチして マークを登録する場所に移動します。

●現在地を登録するときは地図を移動する必要はありません。

2 地点登録 にタッチします。

●地図を移動していないときは 、移動したときは の位置を マークで登録します。

3 NAVI を押します。

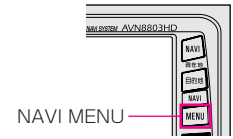


●現在地を表示します。

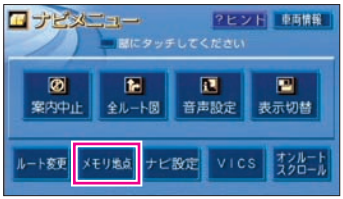
離れた場所を登録するには

■ 兵庫県、姫路市の姫路城を登録する

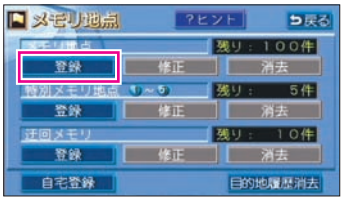
1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



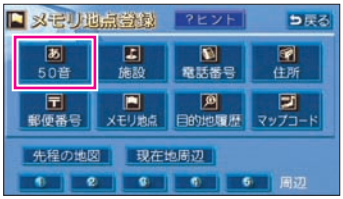
2 メモリ地点 にタッチします。



3 メモリ地点の 登録 にタッチします。



4 50音 にタッチします。



5 ひ、め、し、゛、し、゛、よ、う の順にタッチします。

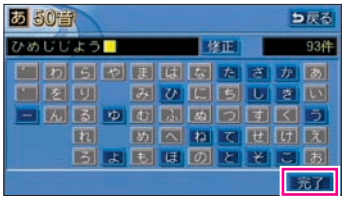
●小文字の「ょ」は よ にタッチします。

次ページへ

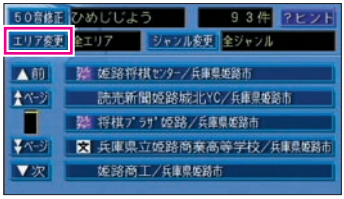
場所の登録

6 完了 にタッチします。

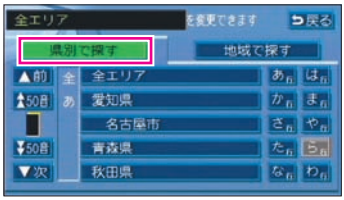
●候補数が多いときは エリア変更 や ジャンル変更 から候補を絞り込んで探すことができます。



7 エリア変更 にタッチします。

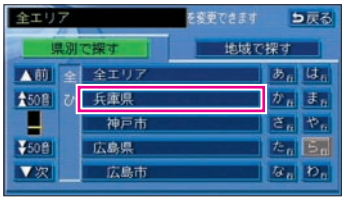


8 県別で探す にタッチします。



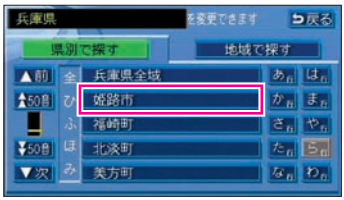
9 リストを切り替えて 兵庫県 にタッチします。

● ▲前 、▼次 、▲50音 、▼50音 、あ ～ わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」**を参照してください。

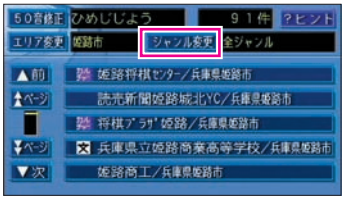


10 リストを切り替えて 姫路市 にタッチします。

● ▲前 、▼次 、▲50音 、▼50音 、あ ～ わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」**を参照してください。

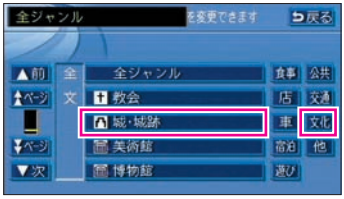


⓫ ジャンル変更 にタッチします。

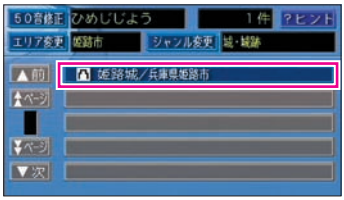


⓬ リストを切り替えて文化の 城・城跡 にタッチします。

- 文化 にタッチすると項目を切り替えることができます。



⓭ リストの 姫路城 にタッチします。



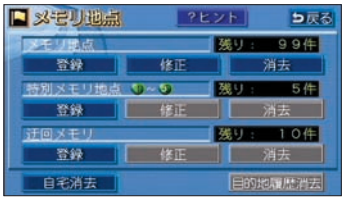
⓮ セット にタッチします。

- 位置変更 にタッチすると位置が変更できます。

次ページへ

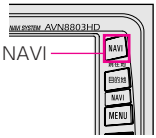
場所の登録

⑮ 地図に登録するマークにタッチします。



- マーク2、音声付きにタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点の記号変更」**を参照してください。

⑯ NAVI を押します。



- 現在地を表示します。

3 ルート案内について

ルート案内を開始するには

行き先を指定すると、自動的に行き先までの道順（ルート）を探索します。これが**「ルート探索」**です。ルート探索が終わったら、探されたルートを行き先までのルートに決めます。これが**「ルート設定」**です。
ルートを設定してドライブを開始すると、行き先までのルートを音声や状況に応じた画面で案内します。
この音声や画面による誘導を**「ルート案内」**といいます。

ルート探索（行き先を指定）

・ワンタッチで探す
・登録した場所から探す
・地図を呼び出して探す

ルート設定

・行き先までの道のりを確認
・希望のルートを選択
・立ち寄り場所の追加

ルート案内

・案内をスタート
・交差点等を案内
・高速道路等の料金・施設を案内

4 ルートの探索（行き先を指定）

行き先を決めてルート探索をしよう

行き先の情報を手がかりにして場所を探します。

① 地図を移動してすぐに探す場合……「目的地セット」
② 自宅に帰る場合（自宅が登録されているとき）……「自宅に帰る」
③ 行き先の施設ジャンル（駅・ゴルフ場・ホテルなど）がわかっている場合……「施設」
④ 行き先の電話番号がわかっている場合……「電話番号」

ほかにも名前から探す「50音」や郵便番号から探す「郵便番号」などもあります。
（詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」**を参照してください。）

①地図を移動したとき

③施設ジャンルから探すとき
④電話番号から探すとき

②自宅に帰るとき

地図を移動して探すには

1. 地図にタッチして ⊕ マークを移動します。

2. 目的地セット にタッチします。

3. ⌂ にタッチして行き先の位置に合わせます。

4. セット にタッチします。

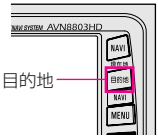
●現在地から⊕マークまでのルートが探索され全ルートが表示されます。

●全ルートを表示

ルートの探索（行き先を指定）

自宅に帰るには

1 目的地 を押します。



2 自宅に帰る にタッチします。

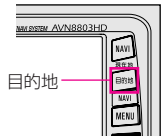
●現在地から自宅までのルートが探索され全ルートが表示されます。

●全ルートを表示

施設ジャンルから探すには

■ 東京都の上野動物園を探す

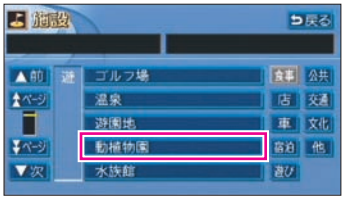
1 目的地 を押します。



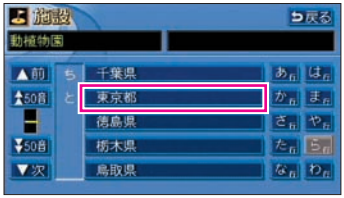
2 施設 にタッチします。

3 その他 にタッチします。

4 リストを切り替えて 動植物園 にタッチします。



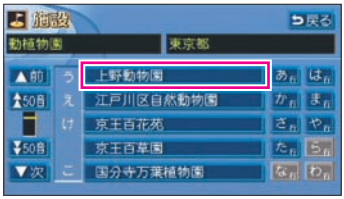
5 リストを切り替えて 東京都 にタッチします。



次ページへ

ルートの探索（行き先を指定）

6 リストを切り替えて **上野動物園** にタッチします。



7 **位置変更** にタッチします。

●位置を変更しないときは **9** の手順を操作します。

8 にタッチして地図を移動します。

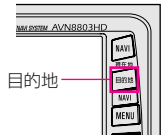
9 **セット** にタッチします。

●現在地から行き先までのルートが探索され全ルートが表示されます。

●全ルートを表示

電話番号から探すには

1 目的地 を押します。



2 電話番号 にタッチします。

3 市外局番から 数字 を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは 修正 にタッチして消去します。
- 10桁全部を入力したときは約3秒後、自動で地図が表示されます。
- 市外局番と市内局番の入力のみのときは、完了 にタッチして、6 の手順を操作します。
- 個人宅の電話番号を入力したときは、10 の手順を操作します。（地図データベースに収録されているときに限ります。）

4 完了 にタッチします。

- 入力した電話番号に複数の施設が該当するときは 5 の手順を操作します。
- 入力した電話番号に該当する施設がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、6 の手順を操作します。

5 該当する 施設名 にタッチします。

- 施設の地図が表示され 12 の手順を操作します。

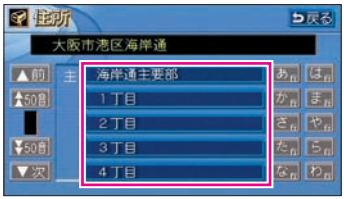
次ページへ

ルートの探索（行き先を指定）

6 **住所一覧** にタッチします。

7 該当する **住所** にタッチします。

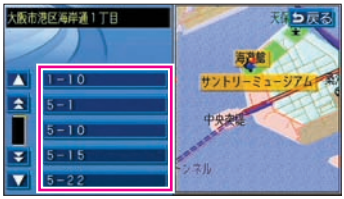
- 住所の地図が表示され **12** の手順を操作します。
- 番地を入力して該当する番地がないときは **8** の手順を操作します。



8 **周辺住所** にタッチします。

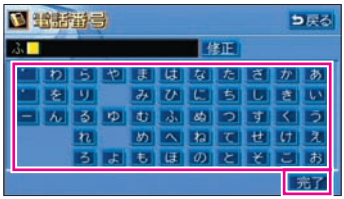
9 該当する **番地** にタッチします。

- 番地の地図が表示され **12** の手順を操作します。



10 個人宅の名称（名字）を１文字ずつタッチして入力します。

- 小文字のっ、ゃ、ゅ、ょは **つ**、**や**、**ゆ**、**よ** で入力します。
- 該当する個人宅がないときは文字のタッチスイッチがトーンダウンして入力できません。



11 **完了** にタッチします。

- 個人宅の地図が表示され、**12** の手順を操作します。

⑫ **セット** にタッチします。

● **位置変更** にタッチすると地図を移動できます。

●現在地から行き先までのルートが表示されます。

●全ルートを表示

5 ルートの設定

希望のルートを設定しよう

行き先を決定すると、現在地から行き先までの推奨するルートを探索して画面に表示します。
画面には行き先までの道を色塗りして、到着予想時間や料金、距離などが表示されます。これを**全ルート図表示**といいます。
全ルート図表示からはルートの道のりを確認したり、ほかのルートを選んだり、ルートの途中に立ち寄り場所を追加することもできます。

■ 表示について

①	**インターチェンジ（IC）名称表示**	有料道路を通るときは、インターチェンジ（IC）の入口（下）と出口（上）の名称が表示されます。
②	**有料道路距離表示**	通る有料道路の距離が表示されます。
③	**料金案内**	通る有料道路の料金が表示されます。
④	**距離表示**	行き先（複数のときは最終目的地）までの距離が表示されます。
⑤	**ICマーク**	有料道路を通るときは、インターチェンジ（IC）の入口と出口の位置に表示されます。［衛星画像（IKONOS）情報があるときはピンク色で表示します。］
⑥	**到着予想時刻表示**	行き先への到着予想時刻が表示されます。
⑦	**残距離表示**	行き先（ルート）までの残りの距離が表示されます。

■ タッチスイッチについて

❶	5ルート	ほかのルートを表示させ、選ぶことができます。(53ページ参照)
❷	ルート変更	表示されているルートを変更することができます。また、行き先を追加したり、インターチェンジ(IC)を変更することができます。(詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「探索ルートの変更」**を参照してください。)
❸	通過道路指定	地図にタッチすると表示されます。 通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「通過道路の指定」**を参照してください。)
❹	案内開始 (案内開始後は、案内に戻る)	案内を開始することができます。
❺	情報	ルートの道のり(案内道路情報)を表示させることができます。(次ページ参照)
❻	イコノス	目的地(G 、G1 ～ G5)やインターチェンジ(IC)などピンク色のマークにタッチすると イコノス が表示されます。 イコノス にタッチするとその地点周辺の衛星画像(IKONOS)を表示することができます。(詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像(IKONOS)の表示」**を参照してください。)
❼	インターチェンジ(IC)名称	インターチェンジ(IC)の名称にタッチすると、インターチェンジ(IC)を変更することができます。(詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「乗降インターチェンジ(IC)の指定」**を参照してください。)
❽	残距離表示	行き先が2カ所以上あるときは、残距離表示にタッチすると、表示される行き先を切り替えることができます。(詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「残距離表示の切り替え」**を参照してください。)

ワンポイント

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定したお車の車両寸法など(74ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

ルートの設定

ルートの道のりを確認しよう

1 全ルート図表示で、 情報 にタッチします。

2 ▲ (または ▼) にタッチします。

- 道路の種別の変わり目などで道のりの情報を分割して表示します。
- 地図 にタッチするとその場所の地図を表示します。

ルート情報画面の見方

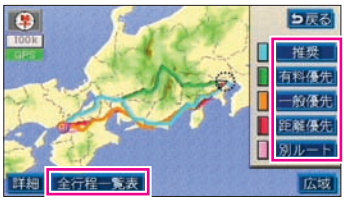
ほかのルートを選んでみよう

推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時に表示して選ぶことができます。

1 全ルート図表示で、 5ルート にタッチします。

2 5つのルートを色分けした表示で 全行程一覧表 にタッチします。

- ルート名称 にタッチすると選んだルートの全ルート図を表示します。

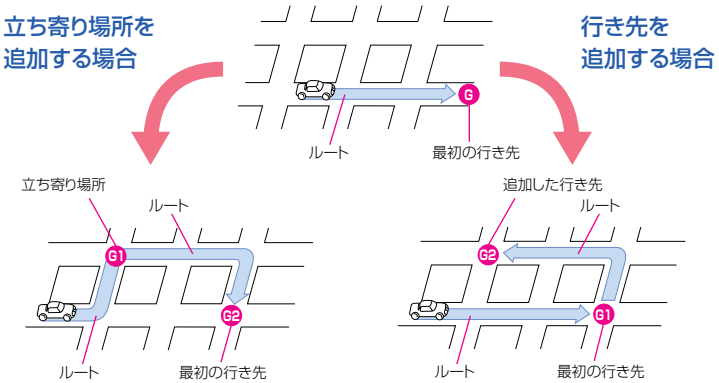


3 希望の ルート名称 にタッチします。

- 選んだルートの全ルート図を表示します。

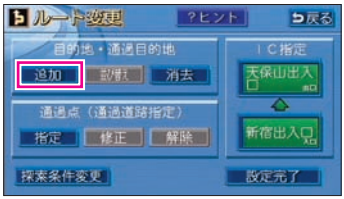
ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう

例えば、友人を迎えに行ってから行き先に行くときや、最初に決めた行き先の次に行き先を追加するなど、前もってルートを変更することができます。



1 全ルート図表示で、ルート変更 にタッチします。

2 目的地・通過目的地の 追加 にタッチします。



3 立ち寄り場所や追加する行き先の探す方法にタッチします。

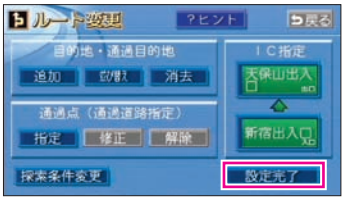
●行き先の探す方法については**「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」**を参照してください。

4 呼び出した地図で セット にタッチします。

5 追加する区間の 設定 にタッチします。

- 現在地から行き先までの間に設定すると立ち寄り場所になります。
- 行き先の次に設定すると次の行き先になります。
- 立ち寄り場所や追加の行き先は最大5カ所まで設定できますので、2 ～ 5 の手順の操作を繰り返してください。

6 設定完了 にタッチします。



- ルートを変更した全ルート図が表示されます。

●全ルートを表示

6 ルートの案内

ルートの案内について

車をスタートさせると、車の動きに合わせて交差点・車線情報・道路形状・料金・高速道路情報などを設定された案内ポイントごとに画面を切り替えていきます。また、案内ポイントごとに音声でもわかりやすく案内します。

ルート案内中の現在地画面

走行する道路によって案内ポイントごとにいろいろな画面で案内します。

交差点の案内

現在地

分岐しない交差点に近づくと…

分岐しない交差点

交差点の700m手前になると…

レーンリスト

① 分岐する交差点までに交差点の名称と車線のレーンを案内します。
（車線のレーン情報があるときに限ります。）

交差点の300m手前になると…

交差点拡大図

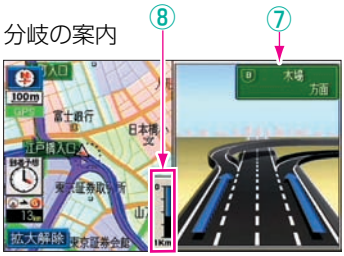
①	**レーン（車線）表示**	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
②	**交差点名称表示**	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
③	**残距離表示**	交差点までの距離が表示されます。 （交差点に近づくとともに▮が短くなります。）

高速道路の案内

高速道路を走行中

インターチェンジや
ジャンクションの
1km手前になると…

分岐の案内



①	**道路名称表示**	走行中の道路名称が表示されます。
②	**施設名称表示**	施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。
③	**距離表示**	現在地からの距離が表示されます。
④	**通過予想時刻表示**	選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。
⑤	**VICS記号・表示**	VICS情報が受信されたとき、表示されます。（VICS記号・表示については、72、73ページを参照してください。）
⑥	**設備マーク表示**	選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア）にある設備が最大7つまで表示されます。（設備が多い場合、表示されないマークもあります。）
⑦	**分岐点名称表示**	インターチェンジの出口、またはジャンクションの方面名称が表示されます。
⑧	**残距離表示**	分岐点までの距離が表示されます。（分岐点が近づくとともに ▮ が短くなります。）

■ 案内画面の操作について

▲・▼、または 施設名 にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。

次ページへ

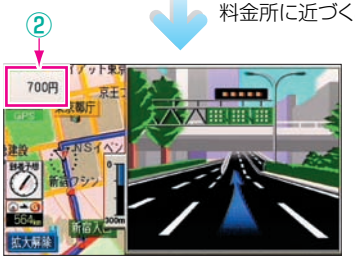
ルートの案内

料金所や道路形状情報の案内

現在地画面

道路形状の
情報があると…

料金所に近づくと…



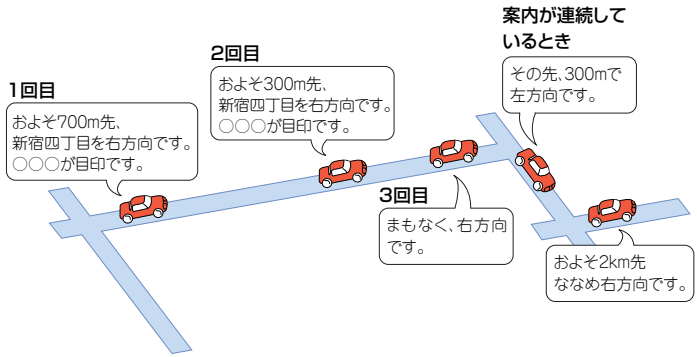
①	道路形状表示	踏切	の警告マークが表示されます。
		急カーブ	
		合流道路	
②	料金表示		使用する有料道路の料金が表示されます。

音声によるルートの案内

ルートの案内中は、道路の状況や車の速度に応じて、案内ポイントまでの距離などを音声でわかりやすく案内します。

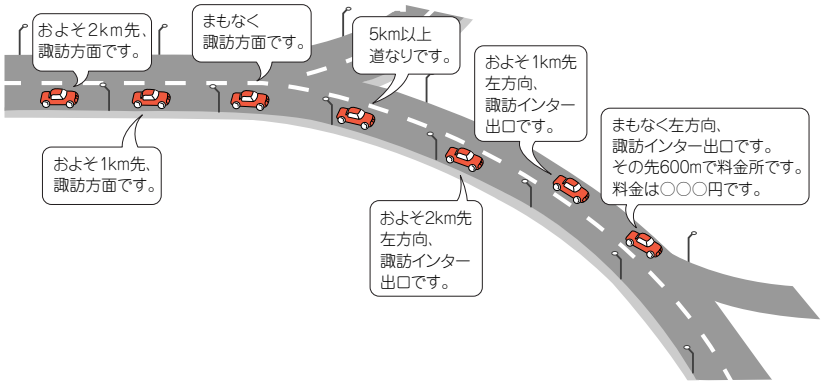
■ 一般道路を走行しているとき

車の速度に合わせ、交差点名や残りの距離、方向および目印（4種類）を最大3回までその状況にあわせて、音声で案内します。



■ 高速道路を走行しているとき

インターチェンジやジャンクションのおよそ2km手前になると、音声で進行方向や方面を案内します。出口の料金所では料金と進行方向を音声で案内します。



ルートの案内

ルート案内に沿って車をスタートしよう

❶ 全ルート図表示で、案内開始 にタッチします。

●現在地の画面が表示され、「○○○○実際の交通規制にしたがって走行してください。」の音声が案内されます。

❷ 運転を開始してください。

ワンポイント

ルートから外れてしまったら

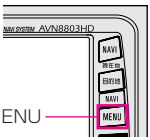
ルートから外れてしまっても、自動的に案内中のルートに戻るよう修正されます。（自動再探索機能）

詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「自動再探索（ハイパーリルート）」**を参照してください。

案内を途中で中止・再開しよう

案内を途中で中止したり、中止した案内を再開することができます。

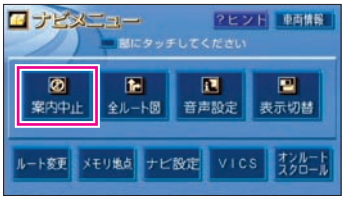
1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



NAVI MENU

■ 案内を中止する

2 案内中止 にタッチします。



●案内が中止されます。

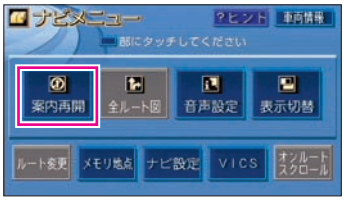
●地図のルートが消えます。（行き先の マークは消えません。）

次ページへ

ルートの案内

■ 案内を再開する

② 案内が中止のときは 案内再開 にタッチします。



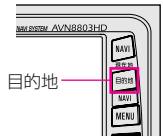
●案内が再開されます。

●地図にルートが再び表示されます。

行き先を消去しよう

設定した行き先を消去することができます。また、ルート通りに行き先に着いても設定した G マークは消えませんので、下記の操作で消去してください。（ただし、新しく行き先を設定すると、前の G マークは消去されます。）

1 目的地 を押します。

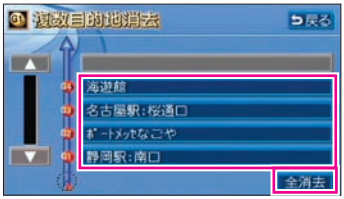


2 消去 にタッチします。

●行き先が1つのときは、4 の手順を操作します。

3 消去する行き先の名称にタッチします。

●全てを消去するときは 全消去 にタッチします。



4 はい にタッチします。

●行き先が残っているときは残った行き先の全ルート図を表示します。

7 インフォメーション（情報）機能の操作

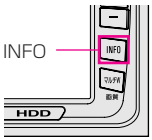
インフォメーション（情報）機能を操作しよう

インフォメーション（情報）機能には、いろいろな便利な機能があります。例えば、施設の詳細な情報を表示したり、レジャーガイドからドライブコースを設定することができます。
ここでは、「情報付き施設」の操作を説明します。
ほかの機能については**「取扱説明書ナビゲーション編」-「インフォメーション（情報）機能」**を参照してください。

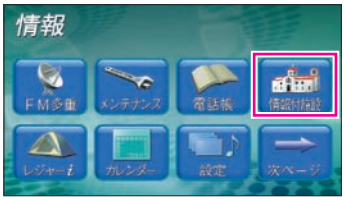
情報付き施設を操作するには

■ 兵庫県の姫路城の詳細な情報を表示する

1 **INFO を押して、インフォメーション（情報）画面を呼び出します。**

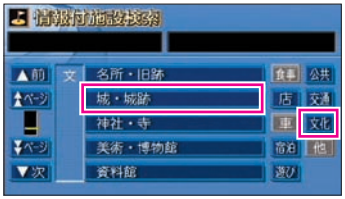


2 **情報付施設 にタッチします。**



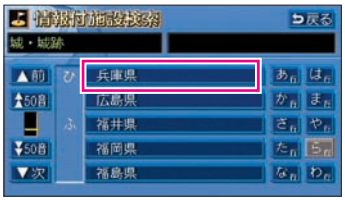
3 **城・城跡 にタッチします。**

- **文化** にタッチすると項目を切り替えることができます。

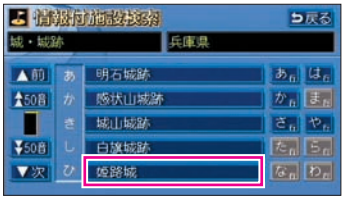


4 **兵庫県 にタッチします。**

- **▲前** 、**▼次** 、**▲50音** 、**▼50音** 、**あ** ～ **わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」**を参照してください。

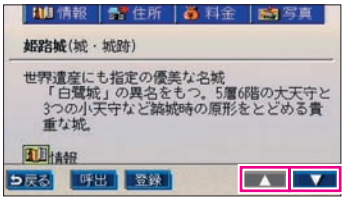


5 姫路城 にタッチします。

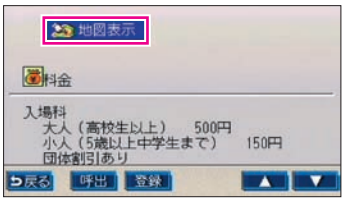


- ▲前 、▼次 、▲50音 、▼50音 、あ ～ わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」**を参照してください。

6 ▼（または ▲）にタッチして画面を移動します。



- 登録 にタッチすると、表示中のページを登録できます。



- 地図表示 にタッチすると地図が表示されます。

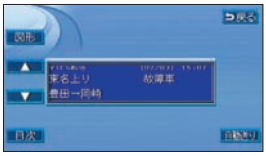
ワンポイント

地図画面からは 目的地セット にタッチすると、行き先に設定できます。また、地点登録 にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

8 VICS機能の操作

渋滞情報を確認するには（VICS機能）

突然の渋滞や事故、道路工事などで道路が混雑している場所や通行止めの位置などを確認することができます。
さらに混雑・渋滞を矢印で色分けして表示するので、ひとめで把握することができます。これがVICS機能です。
VICS機能の表示には、**「文字表示」**、**「図形表示」**、**「地図表示」**があります。



文字表示

図形表示

地図表示

VICS機能を表示するには次の手順で操作してください。

VICS放送局の周波数に合わせる※

（文字表示）
VICS情報を文字で表示する（文字表示）

（図形表示）
VICS情報を図形で表示する（図形表示）

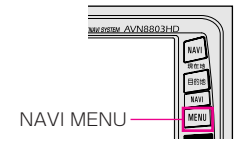
（地図表示）
VICS情報を表示する内容を選ぶ

VICS情報を表示する道路を選ぶ（地図表示）

※VICS機能は本機のラジオチューナーを使用しますので、ラジオの電源を入れてください。また、ラジオを聞いているときは、ラジオの周波数をVICSの放送局に合わせてください。放送局については、**「取扱説明書ナビゲーション編」-「VICS提供放送局の選択」**を参照してください。

VICSの周波数に合わせよう

1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



2 VICS にタッチします。

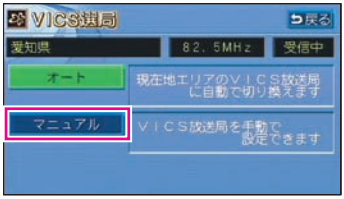
3 VICS設定 にタッチします。

4 VICS選局 にタッチします。

■ 手動（マニュアル）で合わせる

※初期状態では、オート に設定されています。

5 マニュアル にタッチします。

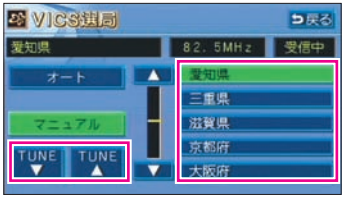


次ページへ・・・

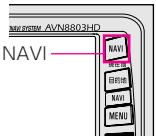
VICS機能の操作

6 エリアから選ぶときは 都道府県 にタッチします。
周波数から選ぶときは TUNE▼ 、または TUNE▲ にタッチします。

●受信すると『受信中』を表示します。



7 NAVI を押します。

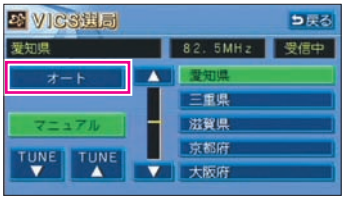


●現在地を表示します。

■ 自動（オート）で合わせる

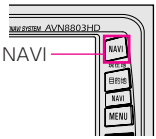
5 オート にタッチします。

●通常は オート で使用できます。
●受信すると『受信中』を表示します。



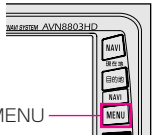
6 NAVI を押します。

●現在地を表示します。

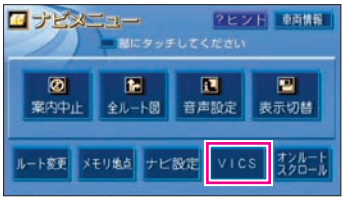


文字・図形情報を表示しよう

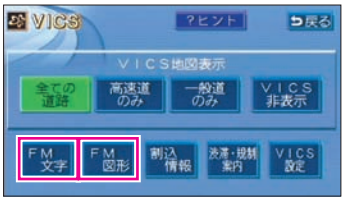
1. NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



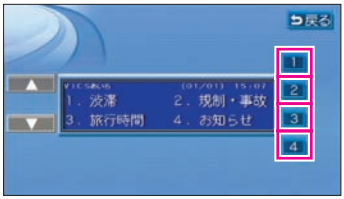
2. VICS にタッチします。



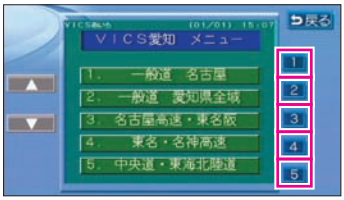
3. FM文字 、または FM図形 にタッチします。



4. 表示する番号にタッチします。



●文字情報のとき



●図形情報のとき

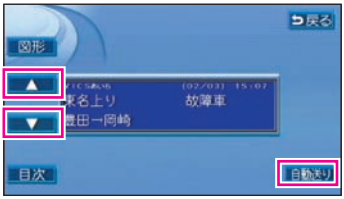
次ページへ

VICS機能の操作

5 ▲・▼、または 自動送り にタッチして表示を切り替えます。

●文字情報のとき、図形情報に切り替えるときは 図形 にタッチします。

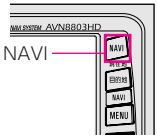
●図形情報のとき、文字情報に切り替えるときは 文字 にタッチします。



●文字情報のとき

●図形情報のとき

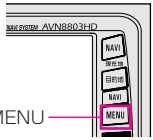
6 NAVI を押します。



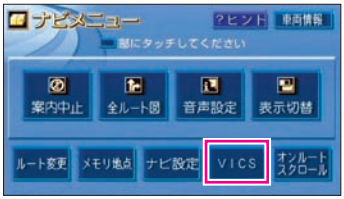
●現在地を表示します。

地図にVICS情報を表示しよう

1. NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



2. VICS にタッチします。



3. VICS設定 にタッチします。

4. 表示する内容にタッチします。
   - 渋滞・混雑 …渋滞・混雑情報の表示
   - 空き道 …空いている情報の表示
   - 規制情報 …事象・規制情報の表示
   - 駐車場 …駐車場情報の表示

5. 戻る にタッチします。

次ページへ

VICS機能の操作

⑥ 表示する道路の種類にタッチします。

- VICS情報を表示すると、道路の色がかわります。
- **VICS非表示** にタッチするとVICS情報は表示されません。

VICS画面の見方について

駐車場、SA・PA情報
駐車場やサービスエリアの情報が表示されます

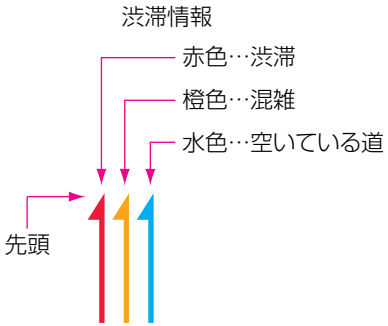
タイムスタンプ
VICS情報を受信した時刻が表示されます

渋滞情報

VICS 17:17 VICS情報を受信中のとき

VICS --:-- VICS情報を未受信のとき

VICS --:-- オーディオがOFF、またはAMラジオを受信中のとき



地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表　示	情報内容	表　示	情報内容
	事故		駐車場 空
	故障車		駐車場 満
	路上障害		駐車場 混雑
	注意		駐車場 不明
	注意		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入り口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入り口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30km/h
	左折禁止		SA PA情報 空
	直進禁止		SA PA情報 満
	片側交互通行		SA PA情報 混雑
	チェーン規制		SA PA情報 不明
	進入禁止		イベント

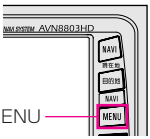
・表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
・凡例の色は印刷インクの関係で、実際の色とは異なって見えることがあります。

9 その他の設定

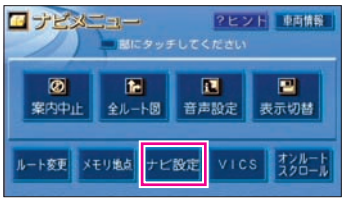
お車の情報（ナンバープレートの分類、車両寸法）を登録しよう

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておくと案内時の料金の計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。

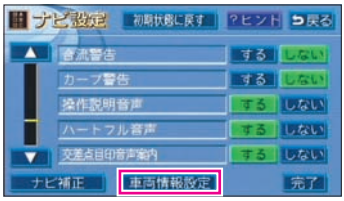
1. NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



2. ナビ設定 にタッチします。



3. 車両情報設定 にタッチします。



4. ナンバープレートの分類（ 1・3・5・7・軽 ）にタッチします。

5. 車両寸法の ▼・▲ にタッチして、入力します。

6. 入力後、完了 にタッチします。

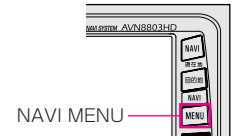
7. NAVI を押します。

●現在地を表示します。

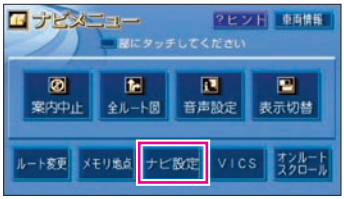
ナビゲーションの画面に時計を表示するには

GPS時計を地図画面に表示することができます。

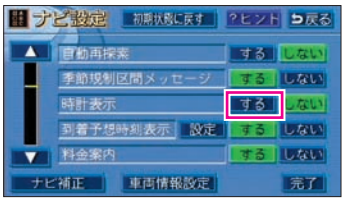
1. NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



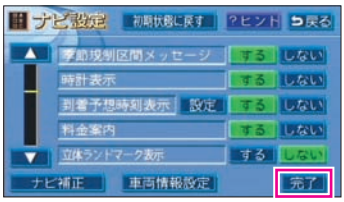
2. ナビ設定 にタッチします。



3. 時計表示の する にタッチします。



4. 完了 にタッチします。

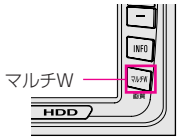


●画面の左に時計が表示されます。

ナビゲーションの画面を消すには

ナビゲーションを使わないときなどに地図画面を表示しなくすることができます。

1 **マルチW** **を長く(1秒以上)押して、画質調整画面を呼び出します。**



2 **画面消** **にタッチします。**

●画質調整画面からはコントラストや明るさなどが調整できます。
詳しくは**「取扱説明書ナビゲーション編」-「画面の調整」**を参照してください。

3 **NAVI** **を押すと、ナビゲーションの画面に戻ります。**

現在地を補正するには

本機は基本的に、地図の自車位置マーク ⚠ がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

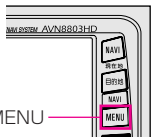
次のようなときは補正を行うことが必要です。
●タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。**（距離の補正）**

また、次のようなときも補正を行うことができます。
●実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク ⚠ が表示されている（自車位置マーク ⚠ がずれている）とき…自車位置マーク ⚠ の位置と向いている方向を修正することができます。**（現在地の修正）**
●走行中、地図の自車位置マーク ⚠ の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車位置マーク ⚠ の進み方を修正することができます。**（距離の補正）**

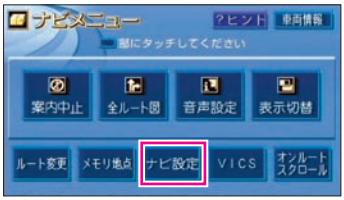
現在地の修正

ワンポイント　800mスケール図より詳細な地図で補正することができます。

1 NAVI MENU **を押して、メニュー画面を呼び出します。**



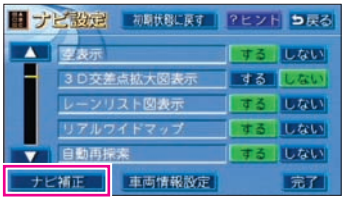
2 ナビ設定 **にタッチします。**



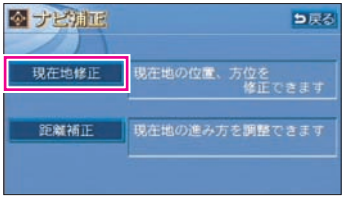
次ページへ

その他の設定

3 **ナビ補正** にタッチします。



4 **現在地修正** にタッチします。



5 ⇧ にタッチして実際の現在地に地図を動かします。

6 **セット** にタッチします。

7 ↓、または ↓ にタッチして方向を設定します。

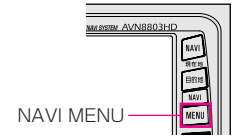
●方向を反時計まわりに動かすときは ↓ 、時計まわりに動かすときは ↓ にタッチします。

8 セット にタッチします。

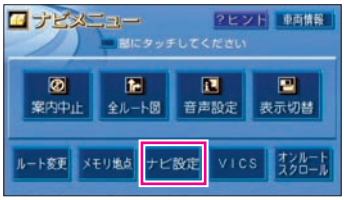
その他の設定

距離の補正

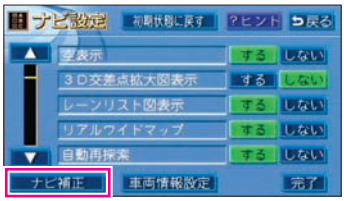
1 NAVI MENU を押して、メニュー画面を呼び出します。



2 ナビ設定 にタッチします。

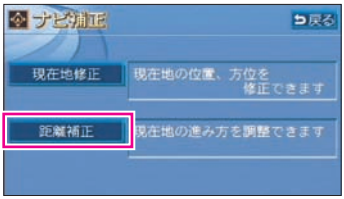


3 ナビ補正 にタッチします。



4 距離補正 にタッチします。

●自動補正、または手動補正を行います。

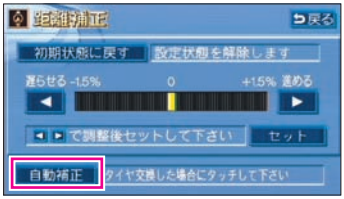


ワンポイント

初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

■ 自動補正するとき

5 自動補正 にタッチします。



- 自動補正中はタッチスイッチが緑色になります。
- GPS情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチが青色にもどります。

ワンポイント

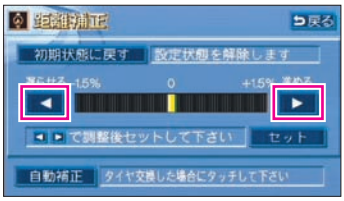
- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マーク の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約10km走行してください。

■ 手動補正するとき

ワンポイント

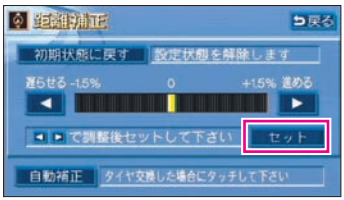
- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- 初期状態に戻す にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態にもどります。

5 自車位置マーク の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは ▶（進める）、早く進むときは ◀（遅らせる）にタッチします。



- 最も進めると ▶ 、最も遅らせると ◀ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

6 セット にタッチします。

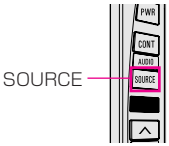


1 オーディオソース(モード)の切り替え

オーディオのソース(モード)を切り替えよう

CDソースに切り替えるには

1 SOURCE を押します。



2 CD にタッチします。

- 聞きたいオーディオソースにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示されます。
- オンスクリーン表示は自動で消えます。(詳しくは23ページを参照してください。)

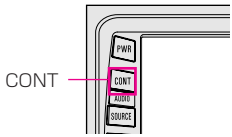
●オンスクリーン表示画面

ワンポイント

- CDやDVD、MEMORY STICK、MP3はディスクが差し込まれていないと切り替わりません。
- ディスク、メディアの入れ方については15ページを参照してください。

操作画面を表示させるには

1 CONT を押します。



- 操作画面が表示されます。
- 各ソースの操作画面は、次ページのように表示されます。

●CD操作画面

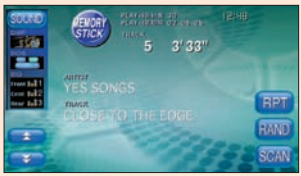
■ AM操作画面

■ FM操作画面

■ CD操作画面

■ MP3操作画面

■ MEMORY STICK操作画面



■ MUSIC JUKE操作画面

■ TV操作画面

■ DVD操作画面

■ CDチェンジャー操作画面（別売）

■ MDチェンジャー操作画面（別売）

オーディオの操作画面を表示後、自動でナビゲーション画面などに切り替えることができます。詳しくは、**「取扱説明書オーディオ編」-「画面の調整・設定」**を参照してください。

2 ラジオの操作

ラジオを聞くには

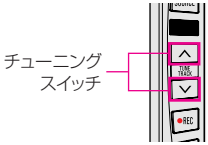
ソースをラジオにする

1 オーディオメニューで、AM、またはFMにタッチします。

よく聞く放送局を記憶させる

1 ∧、∨を押します。

- 手動選局　軽く押すと、1ステップずつ切り替わります。
- 自動選局　"ピッ"と音がするまで押すと、自動で選局します。



2 プリセットスイッチを"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- プリセットスイッチにタッチすると、記憶させた放送局に切り替わります。

自動で放送局を探して、記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

1 AUTO.P を"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- もう一度、AUTO.P にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

■ エリアプリセット機能を使う

今いる地域の放送局名と受信周波数を表示します。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

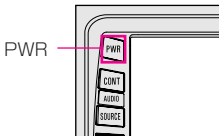
1 エリア にタッチします。

- もう一度、エリア にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

ラジオを止める

1 PWR を押します。

- もう一度押すと、最後に受信していた放送局を再受信します。



3 CD/MP3プレーヤーの操作

CD/MP3ファイルを聞くには

CD/MP3を再生する

■ ディスクが差し込まれていないとき

❶ 差し込み口にディスクを差し込みます。

●自動で再生を始めます。

ワンポイント

音楽CD（アルバム）を差し込み、再生が始まると、自動で録音を開始します。
●REC を1秒以上押すと、録音は停止します。詳しくは**「MUSIC　JUKEの操作」**90ページを参照してください。

■ ディスクが差し込まれているとき

❶ オーディオメニューで、 CD 、または MP3 にタッチします。

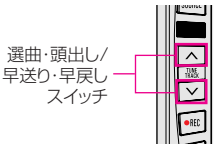
ワンポイント

音楽データとMP3データが同じディスクに混在すると、再生できない場合があります。詳しくは、**「取扱説明書オーディオ編」-「CDプレーヤーの操作」**、または**「MP3プレーヤーの操作」**を参照してください。

聞きたい曲または音楽ファイルを選ぶ

❶ ∧ 、 ∨ を押します。

●CD再生時は次の曲に切り替わり、MP3再生時は次の音楽ファイルに切り替わります。



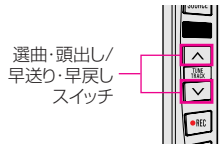
早送り・早戻しする

■ CDモード

❶ ∧ 、 ∨ を"ピッ"と音がするまで押すか、 ⏫ 、 ⏬ にタッチし続けます。

■ MP3モード

1 ∧、∨ を"ピッ"と音がするまで押します。



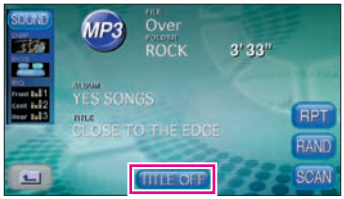
簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ

MP3は、音楽データを約1/10に圧縮するので、1枚のCDに約10枚分の音楽CDを収録することができます。音楽データ収録時に、音楽の種類ごとにフォルダで管理すると、聞きたい曲を探し出すときに便利です。

1 フォルダ（ ）、または音楽ファイル（ ）にタッチします。

- フォルダにタッチすると、フォルダの中に収録されているデータを表示します。音楽ファイルにタッチすると、タッチした音楽ファイルを再生します。
- TITLE にタッチすると、再生している音楽に収録されているファイル情報（アルバム名や曲のタイトル）を表示することができます。

TITLE OFF にタッチ　　TITLE にタッチ



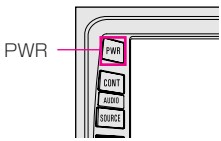
ワンポイント

- 同じフォルダ内に音楽ファイルが8個以上ある場合は、∧、∨にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません）
- ファイル情報（アルバム名や曲のタイトル）は、MP3ディスクの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは**「取扱説明書オーディオ編」-「MP3プレーヤーの操作」**を参照してください。

再生を止める

1 PWR を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた曲または音楽ファイルを再度再生します。



4 “メモリースティック” プレーヤーの操作

"メモリースティック"を聞くには

"MGメモリースティック"(白)に記録された音楽データを再生することができます。

"メモリースティック"を再生する

■ “MGメモリースティック” が差し込まれていないとき

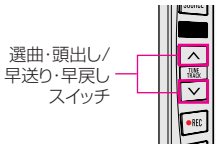
1 差し込み口に"MGメモリースティック"を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。

2 オーディオメニューで、MEMORY STICK にタッチします。

●再生を始めます。

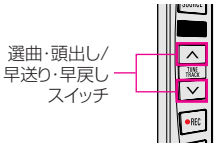
聞きたい音楽データを選ぶ

1 ∧、∨ を押します。



早送り・早戻しする

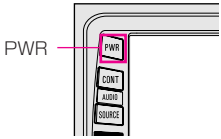
1 ∧、∨ を"ピッ"と音がするまで押すか、⏫、⏬にタッチし続けます。



再生を止める

1 PWR を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた音楽データを再度再生します。



5 MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEについて

MUSIC JUKEは、内蔵のCDプレーヤーやTV、ラジオから音楽・音声を録音することができます。また、録音した音楽に、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどの名称を自動で付けるオートタイトリング機能により、聞きたい曲を、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出すことができます。

録音について

■録音できるオーディオのソースと録音モード

録音可能なオーディオモード	録音モード
CDプレーヤー（MP3は不可）	デジタル録音
CDプレーヤー（デジタル録音が禁止されているCDの場合） TV（音声）、VTR（音声）、ラジオ、各チェンジャー	アナログ録音

■録音モードと操作

録音モード		操　作
デジタル録音	AUTO	CDを差し込むと、自動で録音を開始
	MANUAL	CDを再生中に ●REC を押すと録音を開始
アナログ録音	MANUAL	●REC を押すと録音を開始

オートタイトリング機能について

本機は、あらかじめ23万曲（タイトル）の音楽情報（アルバム名やアーティスト名、曲タイトルなど）をデータベースとして収録しています。音楽CDをデジタル録音すると、自動で、データベースから音楽情報を検索し、「Gracenote CDDB® 音楽認識サービス」（詳しくは、**「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」**参照）により、該当するアルバム名やアーティスト名、曲タイトルなどの音楽情報を付けます。

■デジタル録音時、該当する情報がある

- アルバム名のリストを作成
- アーティスト名のリストを作成
- 曲名のリストを作成
- ジャンルのリストを作成
- 録音日付のリストを作成

■デジタル録音時、該当する情報がない
■アナログ録音時

- アルバム名として CD/ALBUM/001※1のリストを作成
- 曲名として 2003.03.11/CD/001※2のリストを作成
- 録音日付のリストを作成

※1:オーディオのソース/ALBUM/3桁の番号
※2:録音した日付/録音したオーディオソース/3桁の番号

画面の見方

■再生画面

設定 録音モードの切り替え（93ページ参照）や、録音ビットレートの切り替えなどができます。

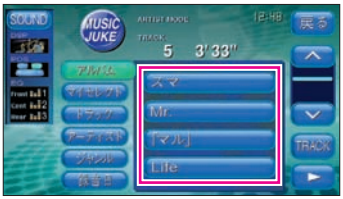
編集 名称編集や、オリジナルリストを作成などができます。

（詳しくは、**「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」**を参照してください。）

■検索画面（プレイモード選択画面）

プレイモードスイッチ※
リストが収録されているグループを切り替えるスイッチです。
＜例＞
アルバム名で検索する場合は、**アルバム**にタッチします。
※マイセレクトは、お好みに合わせて、作成したオリジナルリストが収録されます。（詳しくは、**「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」**を参照してください。）

■検索画面（プレイリスト選択画面）



プレイリストスイッチ
各プレイモードに収録されているリスト名称を表示します。
＜例＞
アルバムプレイモードの中に、“スマ”、“Mr.”、“「マル」”、“Life”というアルバム名のリストが収録されています。

■検索画面（トラック選択画面）

トラック名称（曲名）スイッチ
各プレイリストに収録されているトラック名称（曲名）を表示します。聞きたいトラック名称（曲名）にタッチすると、再生を始めます。

画面の表示方法については、**「聞きたいトラック（曲）を選ぶ」**94ページを参照してください。

MUSIC JUKEに録音するには

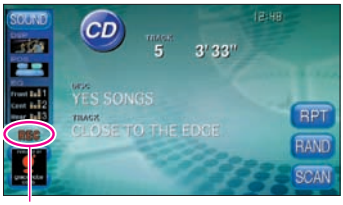
ここでは、内蔵のCDプレーヤーから音楽CDを録音する方法を説明します。

自動で録音する

デジタル録音モードをAUTOに切り替えてから操作します。

1 差し込み口にCDを差し込みます。

- "REC"が表示され、録音を開始します。



録音待機中は"REC"を表示し、録音中は"REC"が回転します。

お好みのトラックを録音する

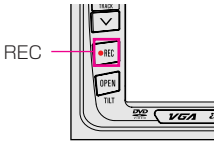
デジタル録音モードをMANUALに切り替えてから操作します。

1 CDを再生します。

2 録音する曲を選びます。

3 ●REC を1秒以上押します。

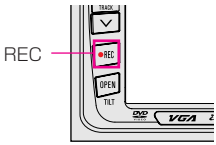
- 曲の途中でRECを押した場合は、再生している曲の頭に戻り、録音を開始します。
- "REC"が表示され、録音を開始します。



録音待機中は"REC"を表示し、録音中は"REC"が回転します。

録音を停止する

1 ●REC を1秒以上押します。



デジタル録音モードを切り替える

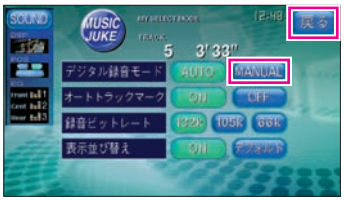
デジタル録音方式をAUTO（自動）からMANUAL（手動）に切り替えることができます。

❶ オーディオメニューで、
MUSIC JUKE にタッチします。

❷ 設定 にタッチします。

❸ MANUAL にタッチします。

❹ 戻る にタッチします。



MUSIC JUKEを聞くには

MUSIC JUKEを再生する

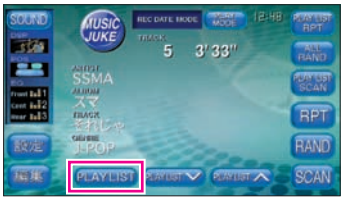
1 オーディオメニューで、MUSIC JUKE にタッチします。

- 前回、MUSIC　JUKEを再生していた場合は、最後に聞いたトラック(曲)の頭から再生を始めます。

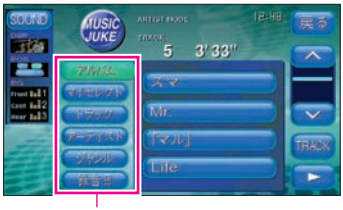
聞きたいトラック(曲)を選ぶ

ここでは、プレイリストやトラックをリスト表示しながら、聞きたいトラック(曲)を選ぶ方法について説明します。

1 PLAY LIST にタッチします。



2 プレイモードにタッチして、検索方法を選びます。

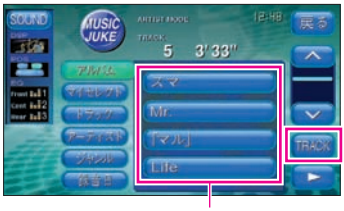


プレイモード

3 プレイリストにタッチして、聞きたいプレイリストを選びます。

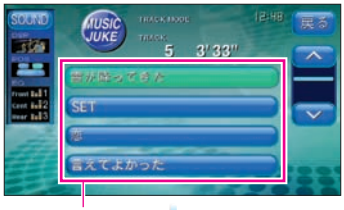
4 TRACK にタッチします。

- ▶にタッチすると、プレイリストに収録されている先頭の曲から再生を始めます。



プレイリスト

5 トラック(曲)にタッチします。



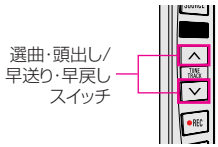
●選んだトラック(曲)情報を表示します。

ワンポイント

同じモード内にリストが4個以上ある場合は、∧・∨にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

早送り・早戻しする

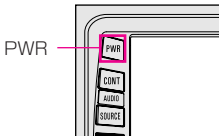
1 ∧、∨ を"ピッ"と音がするまで押します。



再生を止める

1 PWR を押します。

●もう一度押すと、最後に聞いていたトラック(曲)の頭から再生を始めます。



6 TVの操作

TVを見るには

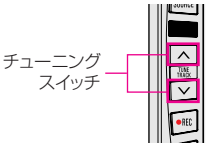
ソースをテレビにする

1 オーディオメニューで、TV にタッチします。

よく見る放送局を記憶させる

1 ∧、∨ を押します。

- 手動選局　軽く押すと、1chずつ切り替わります。
- 自動選局　"ピッ"と音がするまで押すと、自動で選局します。



2 プリセットスイッチを"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- プリセットスイッチからチャンネルを選ぶときは、見たいチャンネルにタッチし、決定 にタッチします。

自動で放送局を探して、記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を検索し、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

1 AUTO.P を"ピーッ"と音がするまでタッチします。

- もう一度 AUTO.P にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。

■ エリアプリセット機能を使う

今いる地域の放送局名と受信周波数を表示します。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

1 **設定** **にタッチします。**

2 **エリア** **にタッチします。**

- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。

複数のチャンネルを表示させる

プリセットスイッチに記憶されている放送局を8画面に分割して同時に表示することができます。

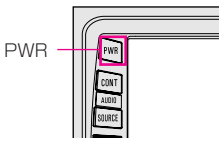
1 **マルチ** **にタッチします。**

- 各画面は動画、静止画の順に切り替わります。
- チャンネルにタッチすると、全画面になります。

TVを止める

1 **PWR** **を押します。**

- もう一度押すと、最後に受信していたチャンネルの音声を出力します。**CONT** を押すとTV画面を表示します。



7 DVDプレーヤーの操作

DVDビデオを見るには

DVDを再生する

■ DVDが差し込まれていないとき

1 差し込み口にDVDを差し込みます。

●自動で再生を始めます。

■ DVDが差し込まれているとき

1 オーディオメニューで、DVD にタッチします。

ワンポイント

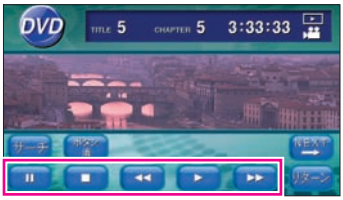
再生するDVDによっては自動再生されないものがあります。その場合は、DVDに収録されているディスクメニューを操作して再生してください。

映像を操作する

再生中の映像を簡単に操作することができます。

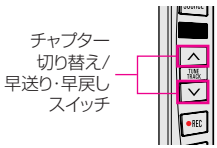
1 操作スイッチにタッチします。

●一時停止中(⏸)に ⏩ に短くタッチすると、スロー再生します。



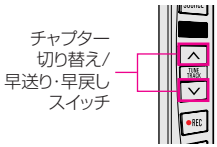
早送り・早戻しする

1 ∧、∨ を"ピッ"と音がするまで押します。



見たいチャプターを選ぶ

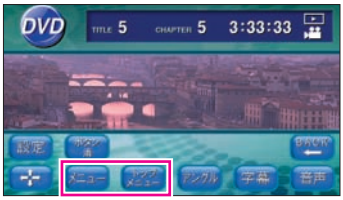
1 ∧、∨ を押します。



ディスクメニューを操作する

1. NEXT にタッチします。

2. メニュー、または トップメニュー にタッチします。



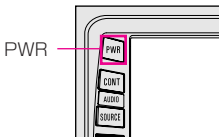
3. にタッチします。

4. ↓ ↑ ← → にタッチし、再生したい内容を選びます。
5. 決定 にタッチします。

DVDを止める

1. PWR を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していたDVDビデオの音声を出力します。CONT を押すとDVD画面を表示します。



8 音質の調整

音質を調整しよう

お聞きになる音楽に合わせて擬似的に演奏会場を創り出したり、きめ細かく音質を調整することができます。また、お聞きになる位置に合わせて音場の中心を調整したり、各スピーカーの音量バランスを調整することができます。

音楽のイメージに合わせて演奏会場を再現する

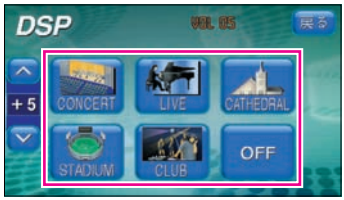
1 SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは 設定 に、DVDのときは NEXT、設定 の順にタッチすると SOUND が表示されます。

2 DSP にタッチします。

3 お好みの音場スイッチにタッチします。

- 戻る にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホールを再現したモード
LIVE	ライブハウスを再現したモード
CATHEDRAL	残響音の多い教会を再現したモード
STADIUM	野外スタジアムを再現したモード
CLUB	ディスコ、クラブを再現したモード
OFF	DSP　OFF

音楽に合わせて音質を調整する

Front、Center、Rearを別々に調整することができます。

❶ SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは 設定 に、DVDのときは NEXT、設定 の順にタッチすると SOUND が表示されます。

❷ EQ にタッチします。

❸ Front 、Center 、Rear にタッチします。

❹ EQ1 ～ EQ5 にタッチします。

- 戻る にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

タッチスイッチ	音質モードの種類	タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし	EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ1	POPSに効果のあるカーブ	EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ	EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

音質の調整

聞く位置に合わせて音場の中心を調整する

❶ SOUND にタッチします。

●TV、VTRのときは 設定 に、DVDのときは NEXT、設定 の順にタッチすると SOUND が表示されます。

❷ POS にタッチします。

❸ ポジション(シート)にタッチします。

● 戻る にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

表　示	ポジション(位置)	表　示	ポジション(位置)
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場

ワンポイント

音量バランス調整(次ページ)と同時に設定できません。

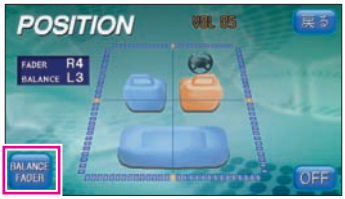
前後左右の音量バランスを調整する

❶ SOUND にタッチします。

- TV、VTRのときは 設定 に、DVDのときは NEXT、設定 の順にタッチすると SOUND が表示されます。

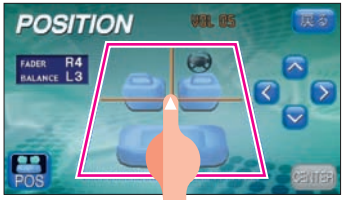
❷ POS にタッチします。

❸ BALANCE FADER にタッチします。



❹ ◻ 内のお好みの場所にタッチします。

- 戻る にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



ワンポイント

音場の中心調整（前ページ）と同時に設定できません。

音質の調整

DVDビデオを再生するときは

接続されているスピーカーや再生するDVDによってスピーカー情報を設定することができます。

1. NEXT にタッチします。

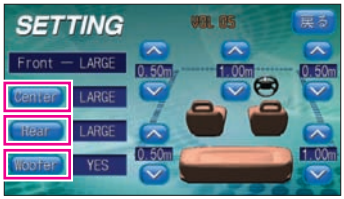
2. 設定 にタッチします。

3. SOUND にタッチします。

4. SET にタッチします。

5. SP設定 にタッチします。

❻ スピーカーサイズおよびWoofer（ウーファ）の有無を設定します。



- Front（フロントスピーカー）は、“LARGE”に固定されています。
- 各タッチスイッチにタッチすると、下記のようにスピーカーサイズが切り替わります。

Center / Rear：LARGE → SMALL → NONE → LARGE

Woofer：YES ⇄ NO

各スピーカーのサイズと機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機　能
Center（センタースピーカー）	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。（100Hz以下の低域は出力されません。）
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Rear（リヤスピーカー）	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。（100Hz以下の低域は出力されません。）
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Woofer（ウーファ）	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。

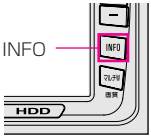
- センタースピーカーを接続していない場合はCenter（センタースピーカー）を"NONE"に設定すると、5.1ch対応のDVDビデオを楽しむことができます。
- モノラル方式で収録されたDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続していても、Centerを"NONE"に設定すると、センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

9 その他の設定

スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう

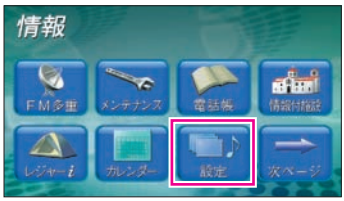
パネルスイッチを押したときや、画面のタッチスイッチにタッチしたときに“ピッ”と鳴る操作音を変えたり、出なく（消音）することができます。

1 INFO を押して、情報画面を呼び出します。



2 設定 にタッチします。

- 設定 からはいろいろな調整ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「基本操作」を参照してください。

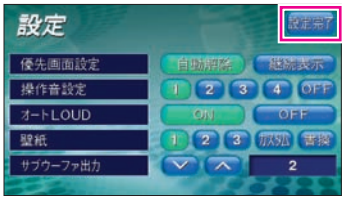


3 操作音設定の 1 、2 、3 、4 、のいずれかにタッチします。

- OFF にタッチすると、操作音がでなくなります。（消音）

4 設定完了 にタッチします。

- 前に表示していた画面にもどります。



画面の表示サイズを切り替えよう

TVやDVD、VTRの表示画面サイズを切り替えることができます。

TVの表示画面サイズを切り替える

1 設定 **にタッチします。**

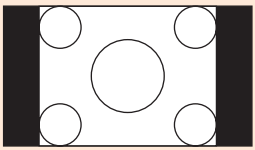
- DVDのときは NEXT にタッチすると、設定 が表示されます。

2 ワイドモード **にタッチします。**

2 切り替えたいサイズにタッチします。

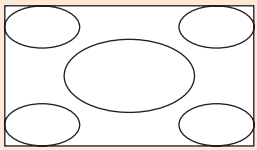
■ 標準画モード

普通のTV画面の大きさで両端が黒く表示されます。



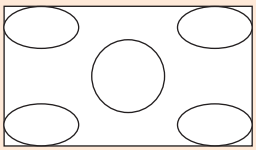
■ ワイド1画モード

普通のTV画面の大きさを左右方向に均等に拡大して表示します。



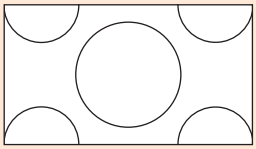
■ ワイド2画モード

普通のTV画面の大きさを左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ ワイド3画モード

普通のTV画面の大きさを上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



注意

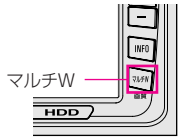
お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 マルチウィンドウの操作

ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう

マルチウィンドウ機能を使用すると、ナビゲーションの地図画面とオーディオ画面などを同時に表示することができます。

1 マルチW を押します。



2 表示したいモードにタッチします。

ワンポイント

- マルチウィンドウ機能を解除するときは NAVI を押してください。
- 行き先までのルート案内中にマルチウィンドウを表示していると、分岐する交差点に近づいても、交差点拡大図を表示しません。

■ TV にタッチすると

TV画面を表示します。

■ 目的地情報 にタッチすると

目的地周辺の衛星画像を表示します。

■ オーディオ にタッチすると

最後に聞いていたオーディオを表示します。

■ DVD にタッチすると

DVD画面を表示します。

■ 走行情報 にタッチすると

現在の速度、高度、走行履歴を表示します。

■ 時計 にタッチすると

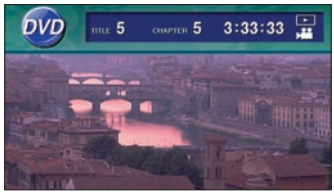
現在の時刻を表示します。

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウを操作しよう

TV/DVDの操作

全画面 にタッチ



TV画面では、∧ ∨にタッチするとチャンネルを順に切り替え、DVD画面では、∧ ∨にタッチするとチャプターを順に切り替えます。

ワンポイント

TV、DVD画面は、全画面にタッチすると通常のTV、DVDに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは マルチW を押し、TV または DVD にタッチしてください。

目的地情報画面の操作

全画面 にタッチ

2画面 にタッチ

- 目的地情報画面は、行き先が設定されていて、行き先周辺の衛星画像（IKONOS）情報が収録されている場合、表示することができます。（衛星画像が収録されている地域などについては、**「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像（IKONOS）の表示」**を参照してください。）
- 全画面で表示している場合 詳細、または 広域 にタッチすると、衛星画像画面の縮尺を切り替えることができます。

オーディオ画面の操作

全画面 にタッチ

ラジオモードでは放送局の切り替え、CD、“メモリースティック”、MUSIC JUKE、MP3、チェンジャーモードでは、曲やリストを切り替えます。

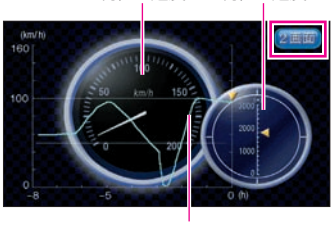
ワンポイント

- オーディオ画面は、全画面 にタッチすると通常のオーディオに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは CONT を押してください。（TV、DVD画面からは、マルチウィンドウ画面にもどりませんので再度、108ページの 1 、 2 の手順を操作してください。）
- オーディオのソースを切り替えるときは、SOURCE を押して、各ソースにタッチしてください。ソースが切り替わりマルチウィンドウ画面に戻ります。

走行情報/時計の操作

全画面 にタッチ

2画面 にタッチ



1 バッテリーの交換時

バッテリーを交換したときは

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、エンジンキー（ACC）を「ON」にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。
また、地図が表示されるまでは本機およびエンジンキーの操作をしないでください。

下記のように画面がかわります。

＜3秒＞

＜4秒＞

＜12秒＞

＜12秒＞

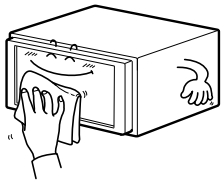
2 お手入れについて

本機やアンテナのお手入れについて

本機のお手入れについて

●汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

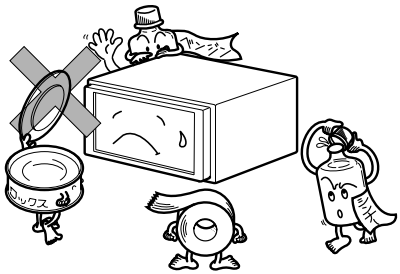
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

●GPSアンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。

●一度、貼り付けたフィルムアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

●フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジン、ガソリン等揮発性のものはご使用にならないでください。表面処理を傷める原因となります。

●フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

●一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

3 アフターサービスについて

アフターサービス

1.この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

2.保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

3.調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「故障とお考えになる前に」を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。

4.出張による修理、点検は行っておりません。

5.この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低６年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先　アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店
または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011)821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03)3366-3833
中部、北陸地区	(052)581-8726
近畿、中国、四国地区	(078)682-2245
九州全域、沖縄	(092)511-3252

受付時間：午前10:00～12:00　午後1:00～5:00
（土・日・祝日などを除く）

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿８丁目14番24号 （西新宿KFビル）	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水９条２丁目１番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字粟宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 （イワイビル）	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 （セレッソワン101）	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒421-0122 静岡市用宗5丁目1番10号 （サンライズ用宗105）	(054)259-2820	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

4 仕様について

各仕様

GPSアンテナ

寸法	34（W）×13.2（H）×38（D）mm
重量	約25（g）（除くケーブル）
供給電源電圧	4.0 ～ 5.0（V）
消費電流	10 ～ 30（mA）以下
作動温度	-30 ～ 90（℃）
保存温度	-40 ～ 110（℃）

テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
液晶パネル	6.5型ワイド低反射パネル
画面寸法	144（W）×78.2（H）mm
画素数	1,152,000個（800（H）×480（V）×3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃

ラジオ・チューナー部

受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
液晶パネル	6.5型ワイド低反射パネル
画面寸法	144（W）×78.2（H）mm
画素数	1,152,000個（800（H）×480（V）×3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃

CD部

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	88dB

MUSIC JUKE／メモリースティック部

高調波歪み率	0.3%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	80dB（1kHz）

共通部

定格出力	15W×4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	50W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（11-16V） アース専用
消費電流	●0.5W×4出力時　約3.7A ●最大約14A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量（重量）	約3.3kg

HDD（ハードディスクドライブ）部

使用温度範囲	- 10℃ ～ + 60℃

仕様について

バックアイカメラ（別売）

撮像素子		1/4インチ　カラーCCD
CCD画素数		約27万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 1.7mm
	F値	1:3.5
	画角（水平、垂直）	120°、84°
TV方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		2 lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600以上
電源電圧		DC6V ± 0.3V
消費電流		190mA（最大）
ケーブル長		11.5m
使用温度範囲		- 20℃ ～ + 60℃
保存温度範囲		- 30℃ ～ + 80℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約34mm × 27mm × 28mm
質量（重量）		約50g（除くケーブル）

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

5 凡例

表示① … **リアルワイドマップ画面**

表示①	表示②	内容
		高速・都市高・有料道路
1		国道
		主要道
56		県道
		その他の道路（巾5.5m以上）
		その他の道路（巾3.0m以上）
		トンネルまたは整備計画区間（上記各道路で表示あり）
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
IC	IC	インターチェンジ
SA	SA	サービスエリア
PA	PA	パーキングエリア
		信号機
P	P	駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル
		港湾

表示② … **通常地図画面**

表示①	表示②	内容
		空港・飛行場
文		学校
幼		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
H		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
卍		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設

表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

富士通テン株式会社

〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸（078）671-5081

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社　2003

090002-25810700
0306C (N)